

「ボランティアサロンについてのアンケート」の結果について

1. 「ボランティアサロンについてのアンケート」について

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症 5 類移行後の、ボランティアサロン利用者の動向や要望の把握のため、アンケート調査を実施した。

(2) 調査期間

令和 5 年 11 月 2 日～12 月 6 日

(3) アンケート項目

属性、利用頻度、利用目的、ボランティアサロンに要望することなど、自由意見を含め 10 項目
アンケート様式は参考資料のとおり

(4) 調査対象・手法

- ①紙媒体での実施…9 階フロント（ボランティアサロン、ミーティングルーム、有償会議室等利用者）、かながわコミュニティカレッジ受講者、アドバイザー相談利用者等に配布
- ②Web での実施…ボランティア登録団体、大学、サポートセンター協議会委員、NPO 協働推進課メールマガジン、基金 21 メールマガジンに Web アンケートの URL を送信し、e-kanagawa 電子申請システムで回答
(紙媒体アンケートの QR コードから Web 回答も可能とした。)

(5) 回答数

263 件（12 月 6 日現在）

内訳 紙 回 答 200 件（11 月 10 日アンケート用紙配布終了）

Web 回答 63 件（12 月 6 日 e-kanagawa 電子申請システム公開終了）

2. 調査結果

(1) 項目 1 あなたについて教えてください

・年代について（団体の場合は複数回答）

◇紙回答（有効回答数 201）

順位	選択項目	回答数	割合
1	⑦70代以上	60	29.9%
2	⑤50代	54	26.9%
2	⑥60代	54	26.9%

◇Web 回答（有効回答数 62）

順位	選択項目	回答数	割合
1	⑥60代	26	41.9%
2	⑦70代以上	15	24.2%
3	⑤50代	11	17.7%

紙回答、Web 回答とも、「⑤50代」「⑥60代」「⑦70代以上」の合計が 80%以上となった。

・どちらにお住まいですか（団体の場合は複数回答）

◇紙回答（有効回答数 233）

順位	選択項目	回答数	割合
1	①横浜市	144	61.8%
2	③その他の市町村	67	28.8%
3	②川崎市	54	9.4%

◇Web 回答（有効回答数 88）

順位	選択項目	回答数	割合
1	①横浜市	47	53.4%
2	②川崎市	27	30.7%
3	③その他の市町村	14	15.9%

「その他の市町村」

相模原市、相模原市南区、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、大和市、秦野市、綾瀬市、葉山町、二宮町、中井町、大井町、東京都内

紙回答、Web 回答とも、「①横浜市」が最多であった。
Web 回答では、遠方（県西地区）の回答があった。

（2）項目2 ボランティアサロンを知っていましたか

◇紙回答（有効回答数 197）

順位	選択項目	回答数	割合
1	②いいえ	127	64.5%
2	①はい	70	35.5%

◇Web 回答（有効回答数 63）

順位	選択項目	回答数	割合
1	①はい	45	71.4%
2	②いいえ	18	28.6%

紙回答は「②いいえ」が多数（64.5%）、Web 回答は「①はい」が多数（71.4%）であった。

（3）項目3 ボランティアサロンを何で知りましたか【複数回答】

（（2）で「はい」と選択した人が回答）

◇紙回答（有効回答数 89）

順位	選択項目	回答数	割合
1	⑤県民センターを利用して	39	42.9%
2	③所属団体が以前から利用している	28	30.8%
3	①知人等の紹介	11	12.1%

◇Web 回答（有効回答数 46）

順位	選択項目	回答数	割合
1	⑤県民センターを利用して	19	41.3%
2	③所属団体が以前から利用している	17	37.0%
3	①知人等の紹介	6	13.0%

「⑥その他」回答（抜粋）

- ・使用したことのある友人に聞いた
- ・階段を登って気付いた

紙回答、Web 回答とも、「⑤県民センターを利用して」が最多であった。

(4) 項目4 ボランティアサロンをどのくらいの頻度で利用していますか【複数回答】

((2)で「はい」と選択した人が回答)

◇紙回答 (有効回答数 87)

順位	選択項目	回答数	割合
1	③以前利用したことはあるが最近は利用なし	36	41.4%
2	④ほとんど利用していない	22	25.3%
3	②月1回程度	16	18.4%

◇Web 回答 (有効回答数 45)

順位	選択項目	回答数	割合
1	③以前利用したことはあるが最近は利用なし	32	71.1%
2	②月1回程度	10	22.2%
3	①週1回程度	2	4.4%

紙回答、Web 回答とも、「④以前利用したことはあるが、最近は利用なし」が最多であった。
この結果から、以前の利用者が戻ってきていないことがうかがえる。

(5) 項目5 どのような目的で利用されていますか【複数回答】

((2)で「はい」と答えた人が回答)

◇紙回答 (有効回答数 101)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①会議や打ち合わせ	48	47.5%
2	④活動のための勉強会	21	20.8%
3	②語学・学習指導	14	13.9%
3	③活動準備作業、制作	14	13.9%

◇Web 回答 (有効回答数 60)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①会議や打ち合わせ	38	63.3%
2	③活動準備作業、制作	10	16.7%
2	④活動のための勉強会	10	16.7%

紙回答、Web 回答とも、「①会議や打ち合わせ」が最多であった。

(6) 項目6 ボランティアサロンを利用しなくなった理由を教えてください【複数回答】

((4)で「以前利用」「ほとんどなし」と選択した人が回答)

◇紙回答 (有効回答数 68)

順位	選択項目	回答数	割合
1	⑦県民センター内の有償会議室利用	19	27.9%
2	③予約なしでも当日利用できるのを知らなかった	13	19.1%
3	⑤Zoomなど電子会議システム利用	7	10.3%
3	⑨その他	7	10.3%

◇Web 回答 (有効回答数 61)

順位	選択項目	回答数	割合
1	⑤Zoomなど電子会議システム利用	11	18.0%
2	③予約なしでも当日利用できるのを知らなかった	9	14.8%
2	⑦県民センター内の有償会議室	9	14.8%
3	②利用再開を知らなかった	8	13.1%

「⑥他の施設利用」回答 (抜粋)

公共施設会議室、小田原市民交流センターUMEKO、横浜市民協働推進センター、西区福祉保健活動フクシア、団体の事務所

「⑨その他」回答 (抜粋)

- ・コロナ前のように自由な時間で利用したい (16~18時)
- ・テーブルに人数制限ができたから
- ・存在を知らなかった
- ・活動内容の変更
- ・ボランティアサロンを知らなかった
- ・本拠地が遠方 (小田原市) のため

紙回答、Web 回答とも、「③予約なしでも当日利用できることを知らなかった」、「⑦県民センターの有償の会議室利用」、が多い結果となった。予約制のみと思われていることが利用の減少の一因と思われる。

「⑨その他」では、自由な時間での利用を希望する意見、テーブルの人数制限を理由にしている意見があった。

また、現在のインターバルの時間 (17時~18:30) に利用したいとの意見があり、今後の運用でコマ割り制度を導入するにあたっては、インターバルの短縮 (または廃止)、時間の変更が必要。

(7) 項目7 今後より利用しやすい施設にするため、どのような設備が必要だと思いますか

((4)で「以前利用」「ほとんどなし」と選択した人が回答)

【複数回答】

◇紙回答 (有効回答数 156)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①Wi-Fiなどのネット環境の充実	60	38.5%
2	②電源が使えるテーブルの増設	37	23.7%
3	④他の団体と仕切るパーティション	21	13.5%

◇Web 回答 (有効回答数 67)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①Wi-Fiなどのネット環境の充実	13	19.4%
1	②電源が使えるテーブルの増設	13	19.4%
3	③パソコン等の大画面モニター	11	16.4%
3	④他の団体と仕切るパーティション	11	16.4%

「⑥その他」回答 (抜粋)

- ・使用条件の緩和、空調仕様の改善、予約なしでの利用
- ・紙折り機増設

紙回答、Web 回答とも、「①Wi-Fi などのネット環境の充実」が最多であった。
「②電源が利用できるテーブル」を望む意見が多数であった。
その他使用条件の緩和を求める意見もあった。

(8) 項目8 普段の活動はどこで行っていますか【複数回答】

(2で「いいえ」と選択した人が回答)

◇紙回答 (有効回答数 166)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①県民センター内の有償の会議室	51	34.7%
2	⑥その他	38	25.9%
3	②市区町の市民活動センターミーティングスペース	26	17.7%

◇Web 回答 (有効回答数 28)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①県民センター内の有償の会議室	9	32.1%
2	②市区町の市民活動センターミーティングスペース	7	25.0%
3	④団体の活動拠点	5	17.9%

紙回答、Web 回答とも、「①県民センター内の有償の会議室」が最多であった。

この項目の結果からは、県民センターには来所しているが、ボランティアサロンを知らない人が多数ということがうかがえる。ボランティアサロンの運用の変更と併せ、効果的な周知のための広報が必要

(9) 項目9 どのような施設なら利用してみたいと思いますか【複数回答】

(2で「いいえ」と選択した人が回答)

◇紙回答 (有効回答数 166)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①打合せや作業に必要な設備	36	17.0%
2	④予約なしで当日利用できる広い空間	30	14.2%
3	③確実に利用できる予約席の設置	22	10.4%
4	⑤利用時間の制限がなくメンバーが集まりやすい	21	9.9%

◇Web 回答 (有効回答数 44)

順位	選択項目	回答数	割合
1	①打合せや作業に必要な設備	10	22.7%
2	③確実に利用できる予約席の設置	8	18.2%
3	②ユニバーサルデザイン採用	5	11.4%
3	④予約なしで当日利用できる広い空間	5	11.4%

「⑪その他」回答 (抜粋)

- ・初めてでも入りやすい雰囲気
- ・特に利用したいと思わない
- ・活動拠点から遠いので今のところ利用する予定はない

「③確実な利用ができる予約席の設置」が多いことから予約制の継続 (一部を含む)を望む意見がある。その一方、「④予約なしで当日利用できる広い空間」も多数あり、予約制とフリー利用の併用が望まれる結果となった。

「⑪その他」の意見から、ボランティアサロンを知らなかった人が気軽に利用していただけるよう、利用しやすさ等をアピールする広報を検討する必要がある。

(10) 項目 10 自由意見（ボランティアサロンに係る部分を抜粋）

- ・ Wi-Fi などのネット環境の整備がされることを切望している。（多数）
- ・ 以前のように空いていればすぐに利用できるとうよい。
- ・ ミーティング、打合せ用として、1 人の利用を撤廃しては。
- ・ プロジェクターの数を増やしてほしい。
- ・ PC やスマホの申込みだけでなく、手数料を取り紙の申請書が必要
- ・ 仕切りなどを取り付けていただき、以前のように人数を 10 人程度にさせていただけたらありがたい。
- ・ 利用したくてもすぐ使えることが可能であり、3 時間と区切ってもまた申し出があれば続けて利用できることが必要。
- ・ 非登録団体など使用できる団体を限り、それ以外の人を使えないようにする必要がある
- ・ 時間外に使っていたら叱られた。禁止事項は明示してほしい。
- ・ 確実に予約できる席を一部でも用意してほしい
- ・ 利用再開を知らなかった
- ・ 駅近であることが利点。大変便利な施設、落ち着いて作業ができる。便利に使っている。
- ・ 窓口の対応が親切、丁寧である
- ・ ワーキングルームの紙折り機が 2 台あると良い。
- ・ 機会があればぜひ利用したい。
- ・ 市民活動をビデオ配信できるスペースがあると楽しい

ボランティアサロンの利点や、使いやすさ、9階スタッフの対応の良さなどが挙げられた。

利用再開を知らなかった、機会があればぜひ利用したいなどの意見もあり、今回のアンケートがボランティアサロンの広報の役割を果たしていることがうかがえる意見もあった。

テーブルの人数制限の撤廃など利用の緩和を求める意見がある一方、手数料の徴収や使用できる団体を限るなど、ルールを厳格化を求める意見があった。ボランティアサロンの利用目的や禁止事項の明示など、わかりやすいルールの周知をすることが必要である。

また、利用時間後の継続利用等柔軟な運用を求める意見もあり、より多くの利用者に気持ちよく使っていただけるよう、今後は9階フロントスタッフ、サポートセンターと密に打合せの機会を持つなどして、これからの運用をするうえでの詳細な決まり事などについて決めていきたい。

3. 自由意見から

「市民活動をビデオ配信できるスペースがあると楽しい」

既出の検討事項以外の取組みとして、自由意見から新たな試みを取り上げる。

ボランティア団体や市民活動の PR をするデジタル媒体として、県民センター1階で運用をしているデジタルサイネージを活用。月に1日程度、1団体の情報を発信する。（先着順、希望制とする。）